

報道各位

春季特別企画展
「名所江戸百景一切り取られた町の風景―」
開催について

中山道広重美術館春季企画展「名所江戸百景一切り取られた町の風景―」の開催についてお知らせいたします。

記

1. 会期 2017年3月30日（木）～6月11日（日）

【前期】3月30日（木）～5月7日（日）

【後期】5月11日（木）～6月11日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日、祝翌日

※5月8日（月）～10日（水）は展示替えのため休館

2. 観覧料 一般：820円（660円）（ ）内は20名以上の団体料金

※18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

3. 主催 恵那市、恵那市教育委員会、公益財団法人中山道広重美術館

4. 後援 国際浮世絵学会（予定）、NHK岐阜放送局（予定）

5. 展覧会内容

身近な景色を斬新な構図で切り取った、歌川広重晩年の代表作である《名所江戸百景》をご覧ください。本作は目録を含め全120枚で構成される揃物で、題の通り江戸市中の名所があますところなく収められています。それぞれの図には、遠近感を強調したり俯瞰図を用いたり、さまざまな工夫が見られます。鮮やかな色彩も見どころの一つで、数々の華やかな図はデザイン性にも優れ、現代でも色あせることはありません。このたび《名所江戸百景》全図を、2期に分けて展示いたします。広重の絵づくりの妙をお楽しみください。

6. 図版



歌川広重（うたがわひろしげ）

「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」

（めいしょえどひゃっけい かめいどうめやしき）

大判錦絵 安政4年（1857）頃

中山道広重美術館蔵（吉村コレクション）

鮮やかな色で春の梅林の景を描き表します。樹木の一部に近接し極端に拡大して描く、大胆な構図が目を引きます。濃淡を用いて木肌の手触りまで表現しています。群生する木々や花を愛でる人の姿が枝越しに見え、遠近感を強調した画面は迫力を感じさせますが、小さな白い花は愛らしく、華やかな印象をもたらします。本図はまた、19世紀の画家フィンセント・ヴァン・ゴッホが模写したことで知られています。

亀戸天神の北にあった豪商の別荘は、庭園内に梅が咲き誇ったことから梅屋敷と呼ばれていました。地を這うように枝を伸ばす様子が、あたかも龍^{りゅう}が伏しているように見えたためこの梅は「臥龍梅」と名付けられ江戸の人々に親しまれました。

7. 関連イベント

※全て無料（ただし、観覧料が必要です）。詳しくは美術館までお問い合わせください。

●公開講演会

日時：5月20日（土）午後1時30～3時30分（質疑応答含む）（予定）

講師：宮本 武 氏（フォトグラファー）

場所：中山道広重美術館 講座室（3F）

●学芸員による作品ガイド

日時：4月2日（日）、6月4日（日） 各日午前10時30分～（30分程度）

場所：中山道広重美術館 展示室1（1F）、展示室2（2F）

●美術館ボランティア「香風会」（代表：鎌田 幸子）による呈茶会

日時：未定

場所：中山道広重美術館 メーンラウンジ（1F）

●解説ボランティア「幽遊会」による作品ガイド

日時：随時

※個人・団体問いません。ご希望の方は事前にお電話でご予約ください。